

かきの木幼稚園 11月園だより

令和7. 10. 23 No.1

かきの木幼稚園
園長 川井 直子

えんちょうのふでばこ

幼稚園で子どもはどう育つか

——「第六十一回運動会」をおえて

幼稚園には、盆踊り大会、運動会、収穫祭、お遊戯会など、様々な行事がありますが、とりわけ、運動会の練習や本番体験は園児の成長にとって大きな契機となります。

子ども達は一人一人がこの行事で自分の存在を確認し、自己の成長や可能性が広がることを理解したのではないのでしょうか？

特に年長組さんは、自身がリーダーとなる役割があることを強く感じたと思われます。（実際、年長組さんは頼もしくカッコヨカッタですよね！）それより小さい学年は幼稚園という場所は楽しく遊んで帰るばかりの所ではないようだと自覚し、自分で自身を育てようとする意欲が芽生えたかもしれません。

「幼稚園」という家庭より大きな集団は、子ども心にも自分とは思いは違う様々な仲間がいることを自覚し園生活の在り方にも関心を持つことでしょう。これから、その意欲や気づきに対して思うように物事が進まない時や葛藤もあるのでしょうか、細やかに対応して成長や自立に導いて参りたいと思います。

今年の運動会は平日開催でした。平日にも関わらず（政府の指導です）「第六十一回運動会」に多くの皆様方のご理解ご支援をありがとうございます。さて、スポーツの秋から、晩秋の芸術の秋へ、十一月には、子ども達一人一人の創造性（想像性）、表現の可能性等、子ども達の学びの一端を展示します。ご期待下さい。